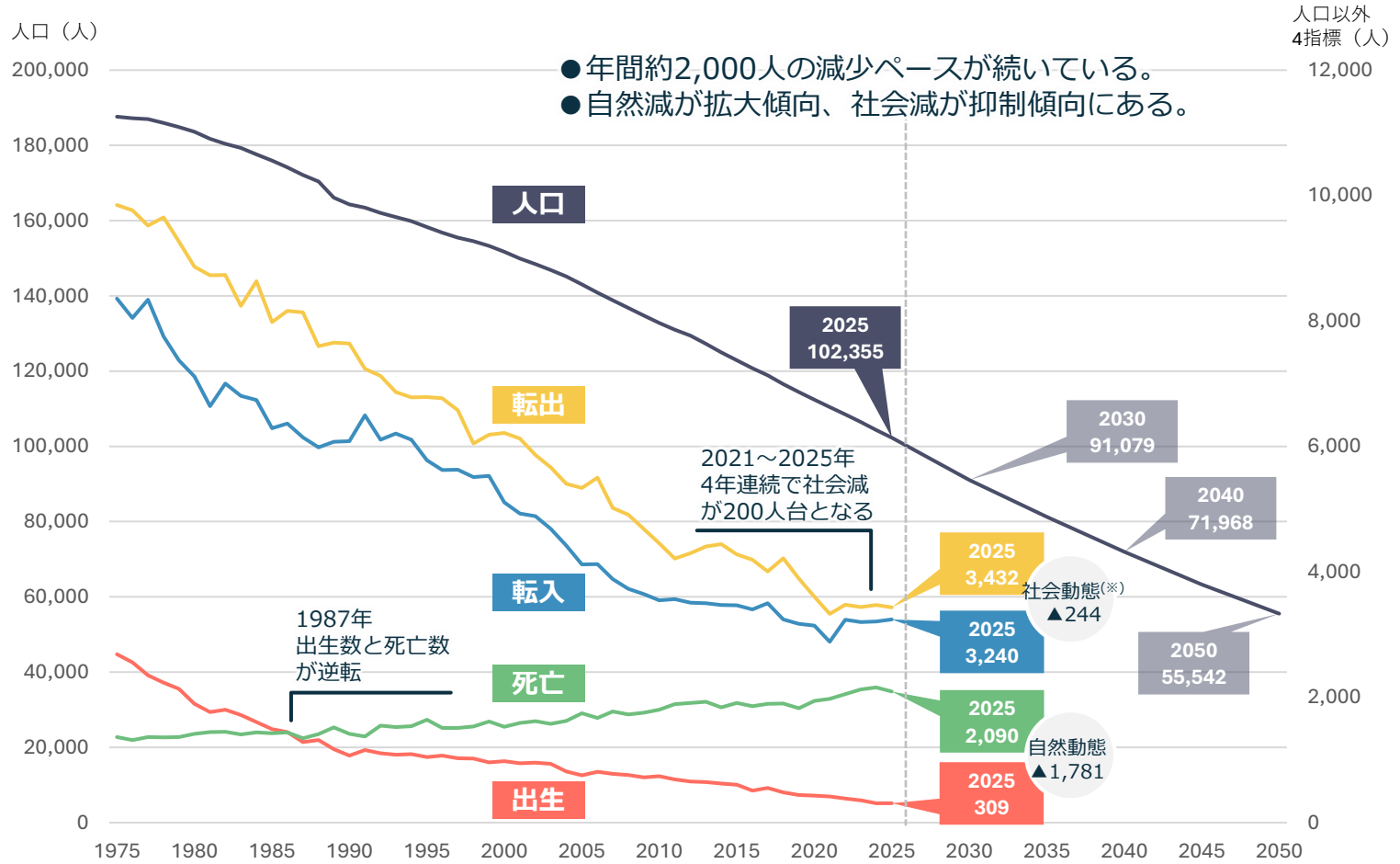


人口の推移 (自然動態・社会動態の推移①と将来人口推計)

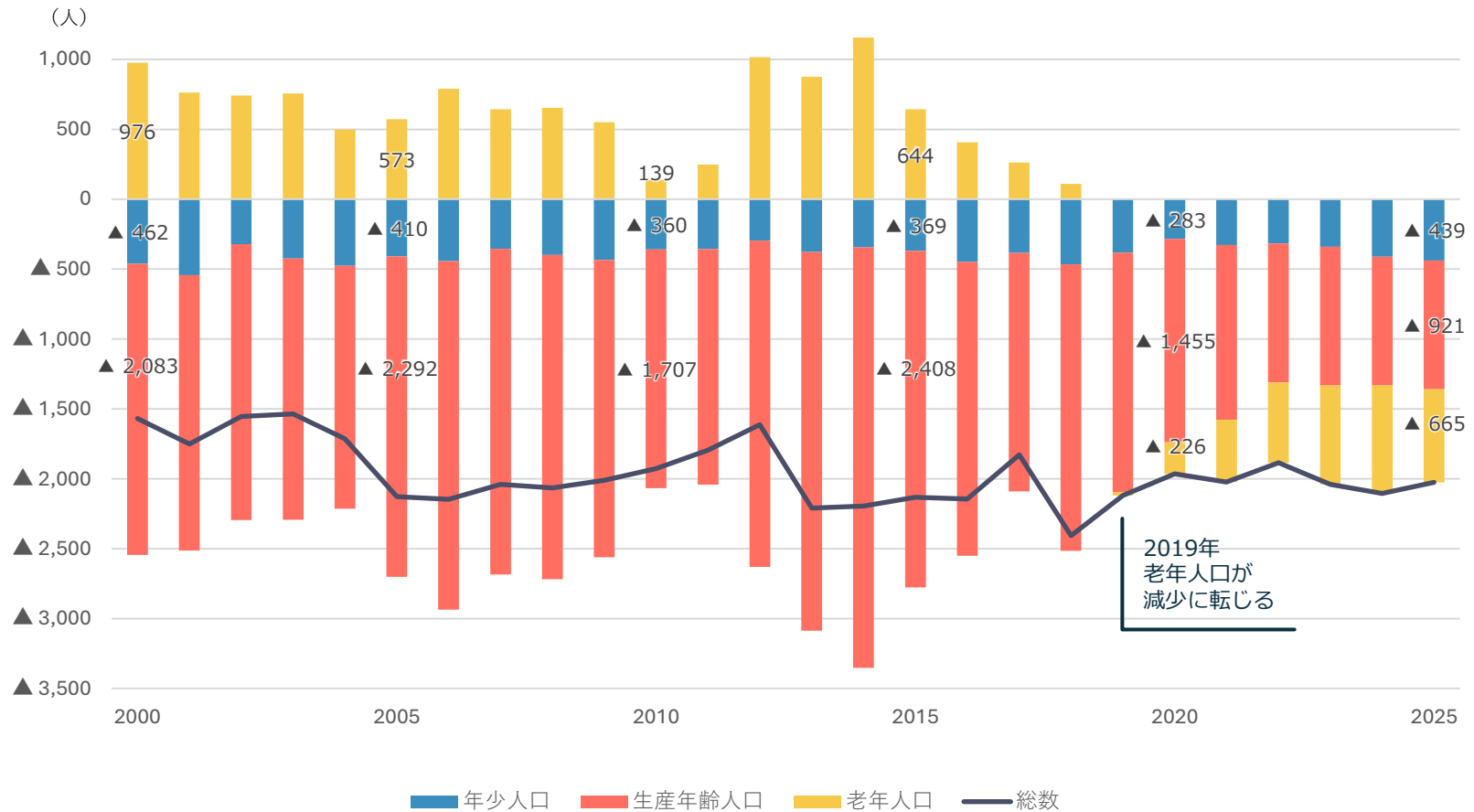
※将来人口推計は社会保障・人口問題研究所の推計による



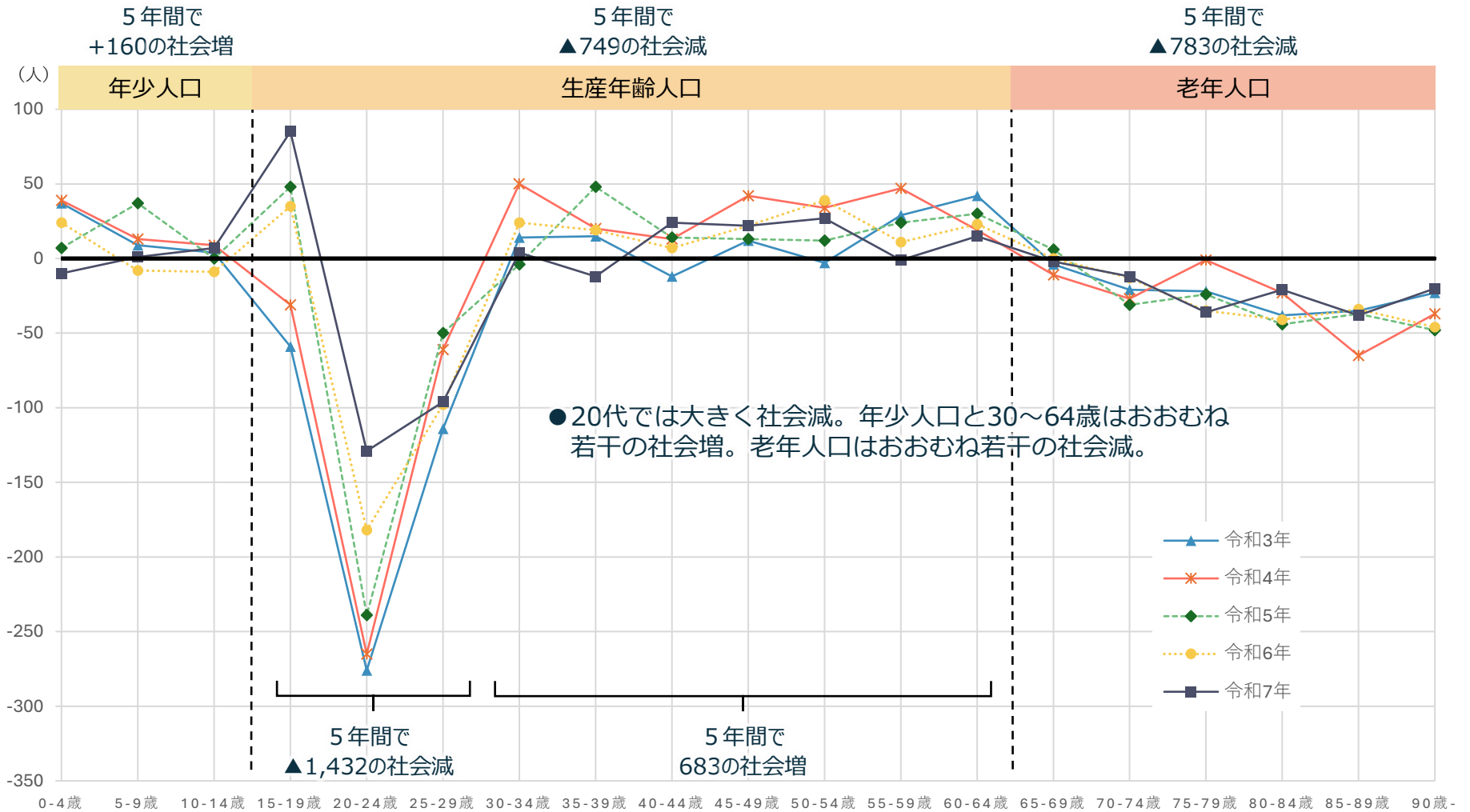
※職権による▲52を含む。

人口の推移 (年齢3区分毎の増減数の推移)

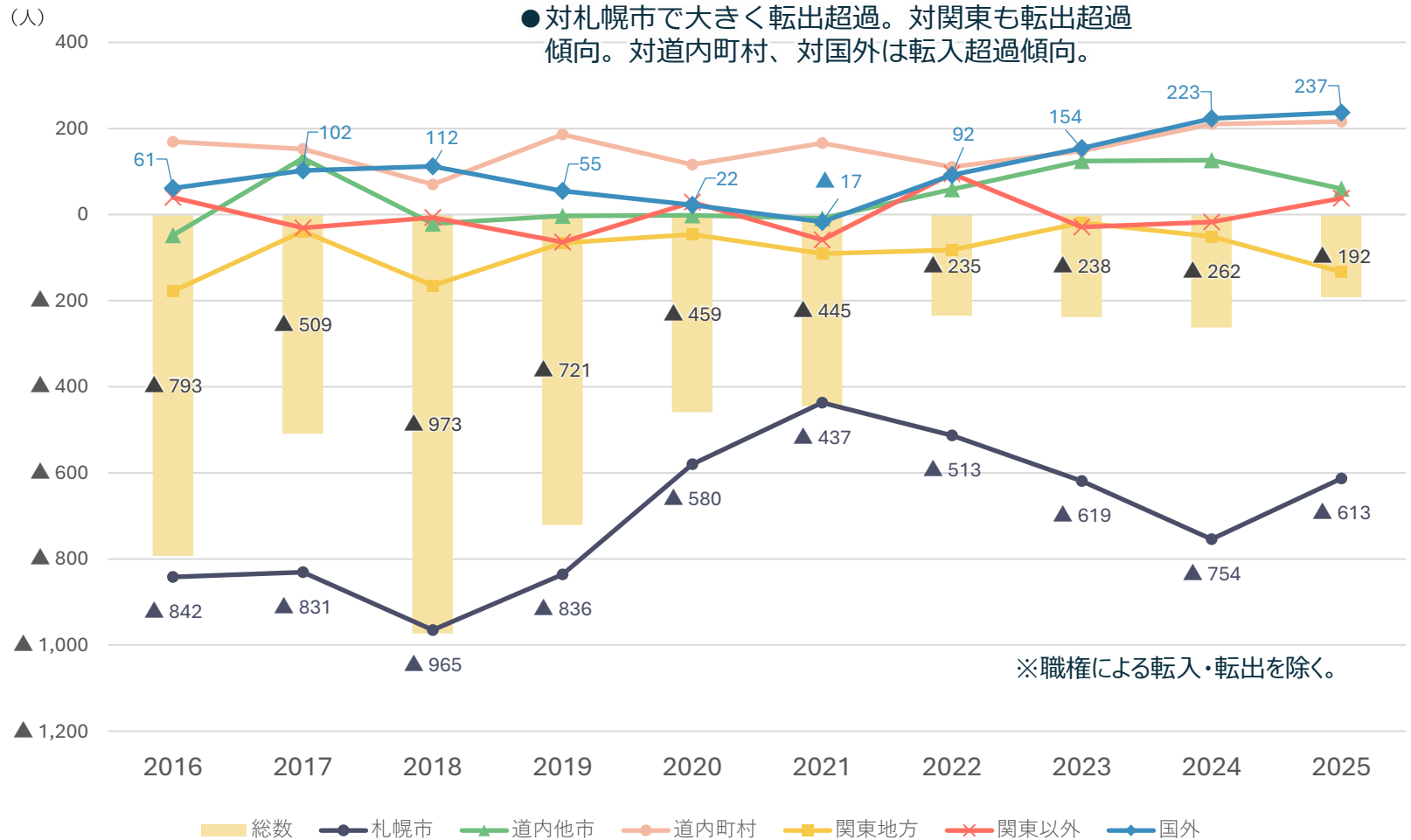
●年間約2,000人の減少ペースは続いているが、生産年齢人口の減少が抑制傾向にあり、老年人口は増加から減少に転じ、減少数が拡大傾向にある。



人口の推移 (年齢区分毎の社会増減数)



人口の推移 (転入元・転出先別)



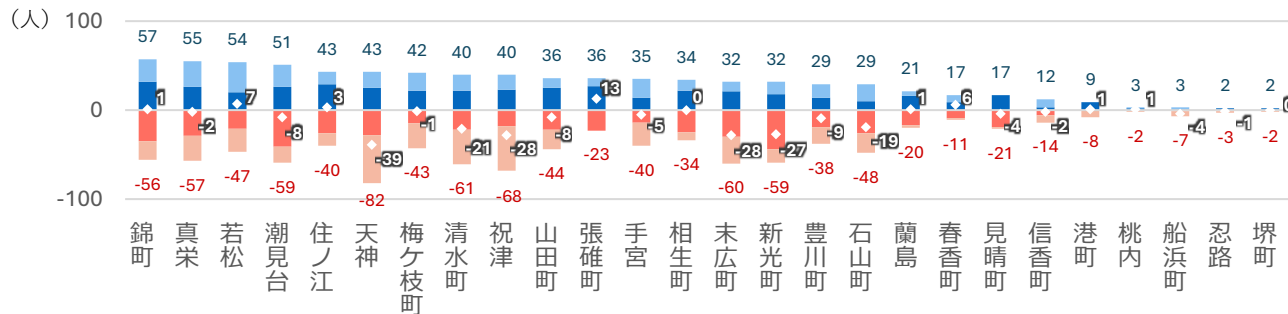
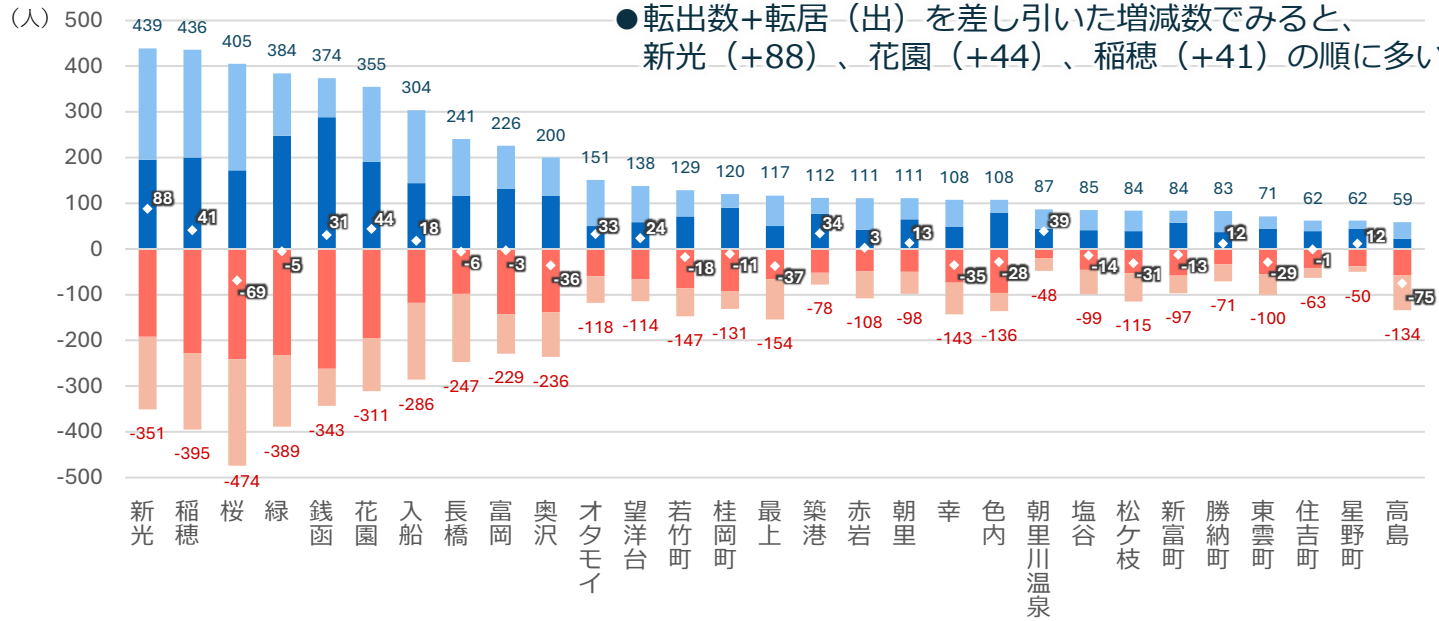
人口の推移 (転入元・転出先／対札幌市各区)

- 対札幌市で大きく転出超過にあり、その大部分を手稲区・西区・中央区が占める。

区	R6					R7				
	転入		転出		転入 - 転出	転入		転出		転入 - 転出
中央区	145人	15.3%	235人	13.8%	▲90人	140人	14.5%	243人	15.4%	▲103人
北区	143人	15.1%	204人	12.0%	▲61人	120人	12.5%	165人	10.5%	▲45人
東区	104人	11.0%	175人	10.3%	▲71人	124人	12.9%	136人	8.6%	▲12人
白石区	73人	7.7%	128人	7.5%	▲55人	72人	7.5%	109人	6.9%	▲37人
豊平区	81人	8.5%	164人	9.6%	▲83人	107人	11.1%	143人	9.1%	▲36人
南区	55人	5.8%	59人	3.5%	▲4人	53人	5.5%	71人	4.5%	▲18人
西区	122人	12.9%	305人	17.9%	▲183人	134人	13.9%	292人	18.5%	▲158人
厚別区	25人	2.6%	44人	2.6%	▲19人	31人	3.2%	47人	3.0%	▲16人
手稲区	173人	18.2%	356人	20.9%	▲183人	157人	16.3%	335人	21.3%	▲178人
清田区	27人	2.8%	32人	1.9%	▲5人	25人	2.6%	35人	2.2%	▲10人
計	948人	100%	1,702人	100%	▲754人	963人	100%	1,576人	100%	▲613人

人口の推移 (R7市内町別転入出・転居)

- 転入数+転居（入）数の多い順に並べたもの。
- 転出数+転居（出）を差し引いた増減数でみると、新光（+88）、花園（+44）、稲穂（+41）の順に多い。

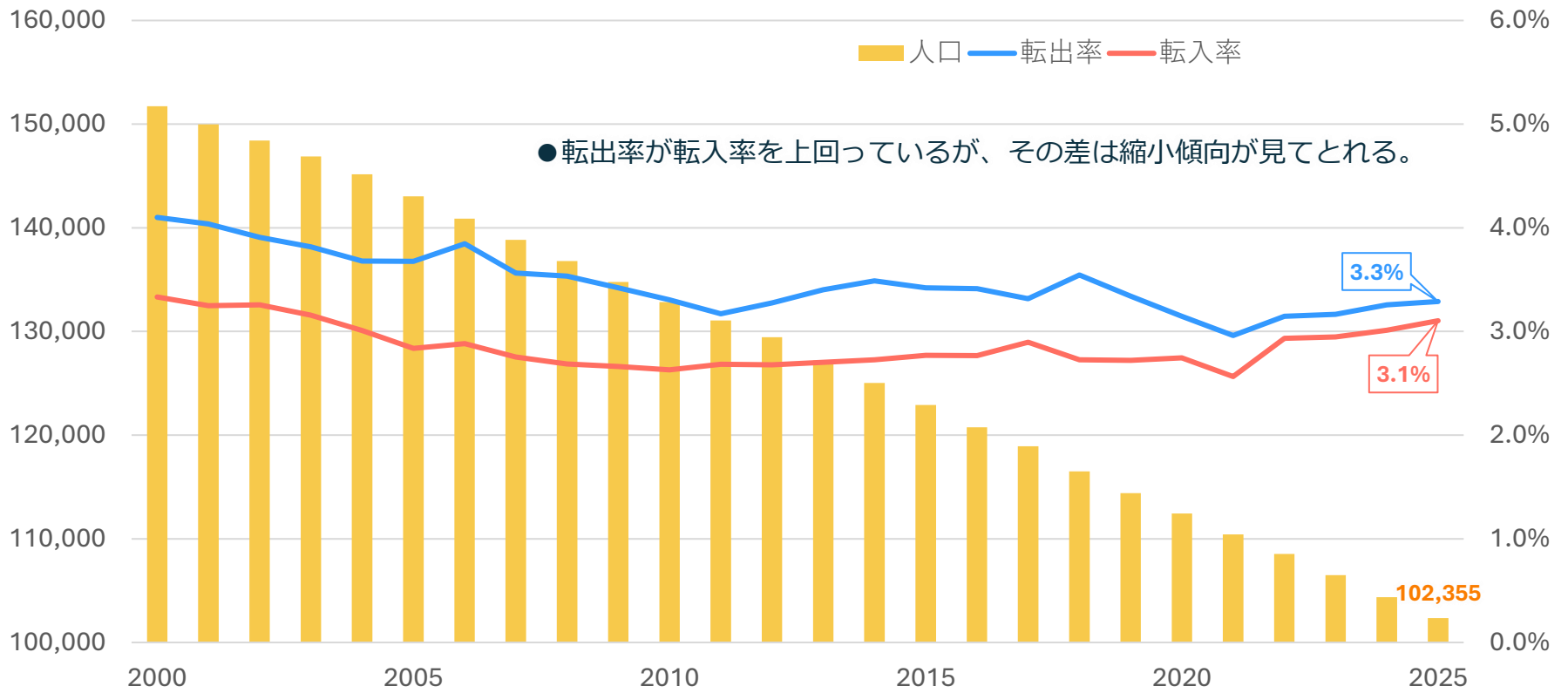


- 転居（入）
- 転入
- 転出
- 転居（出）
- ◇ 4区分合計の増減

転出入率 (市全体)

※転出率 = (1～12月の転出者数) / (前年12月末人口)

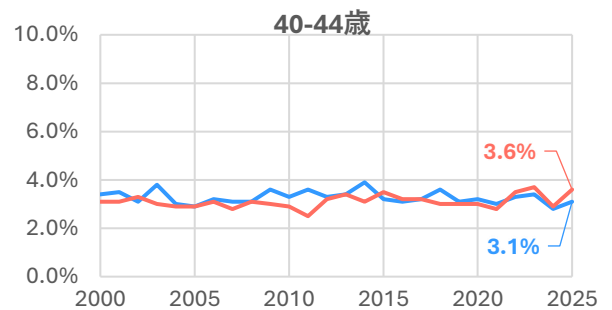
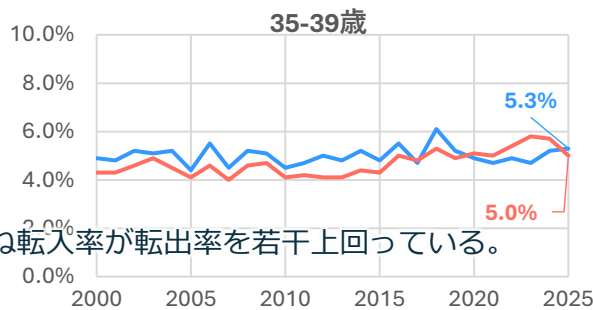
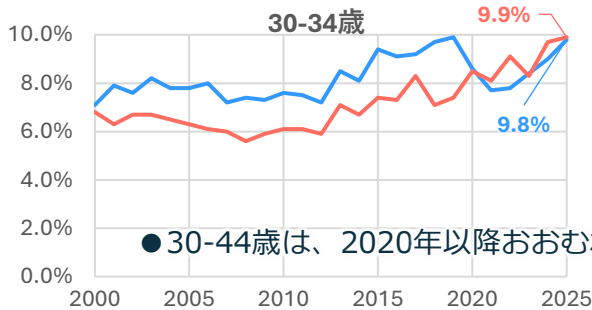
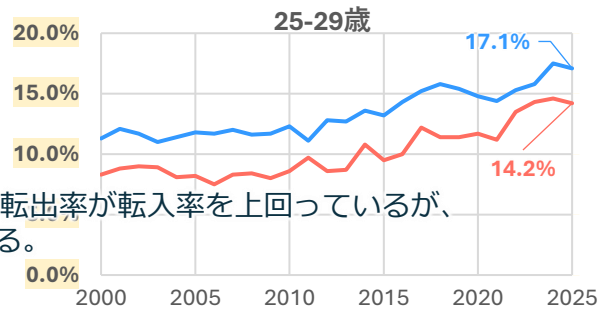
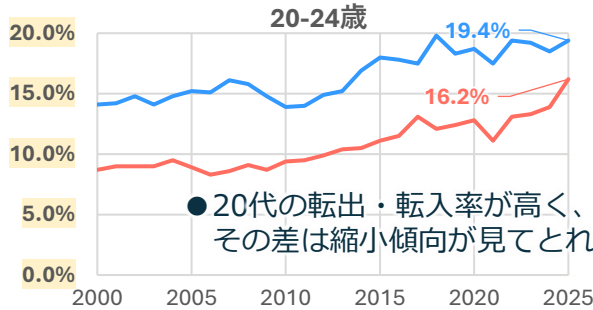
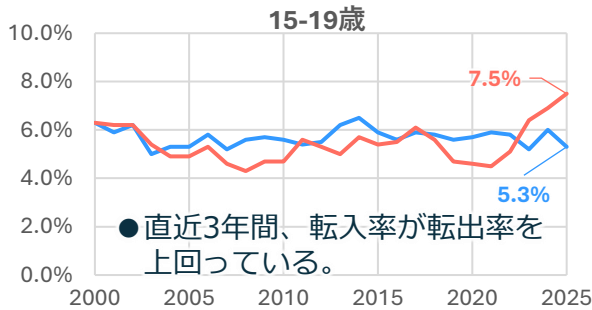
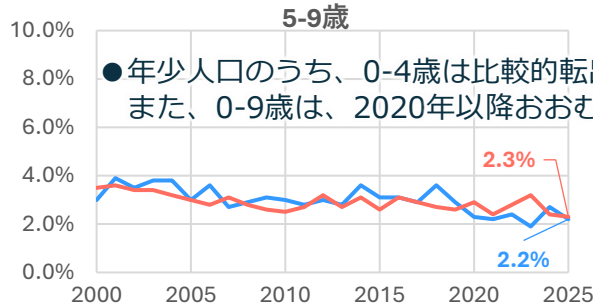
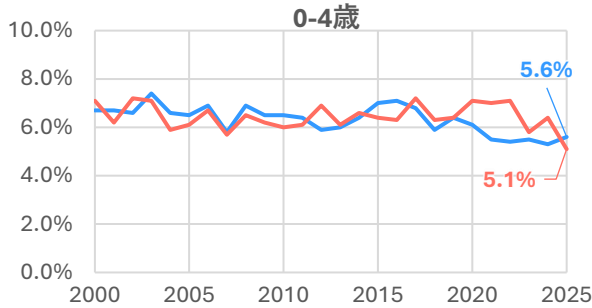
※転入率 = (1～12月の転入者数) / (前年12月末人口)



転出入率 (年齢5歳区分別)

※転出率 = (当該年齢区分の1～12月の転出者数) / (前年12月末における当該年齢区分人口)

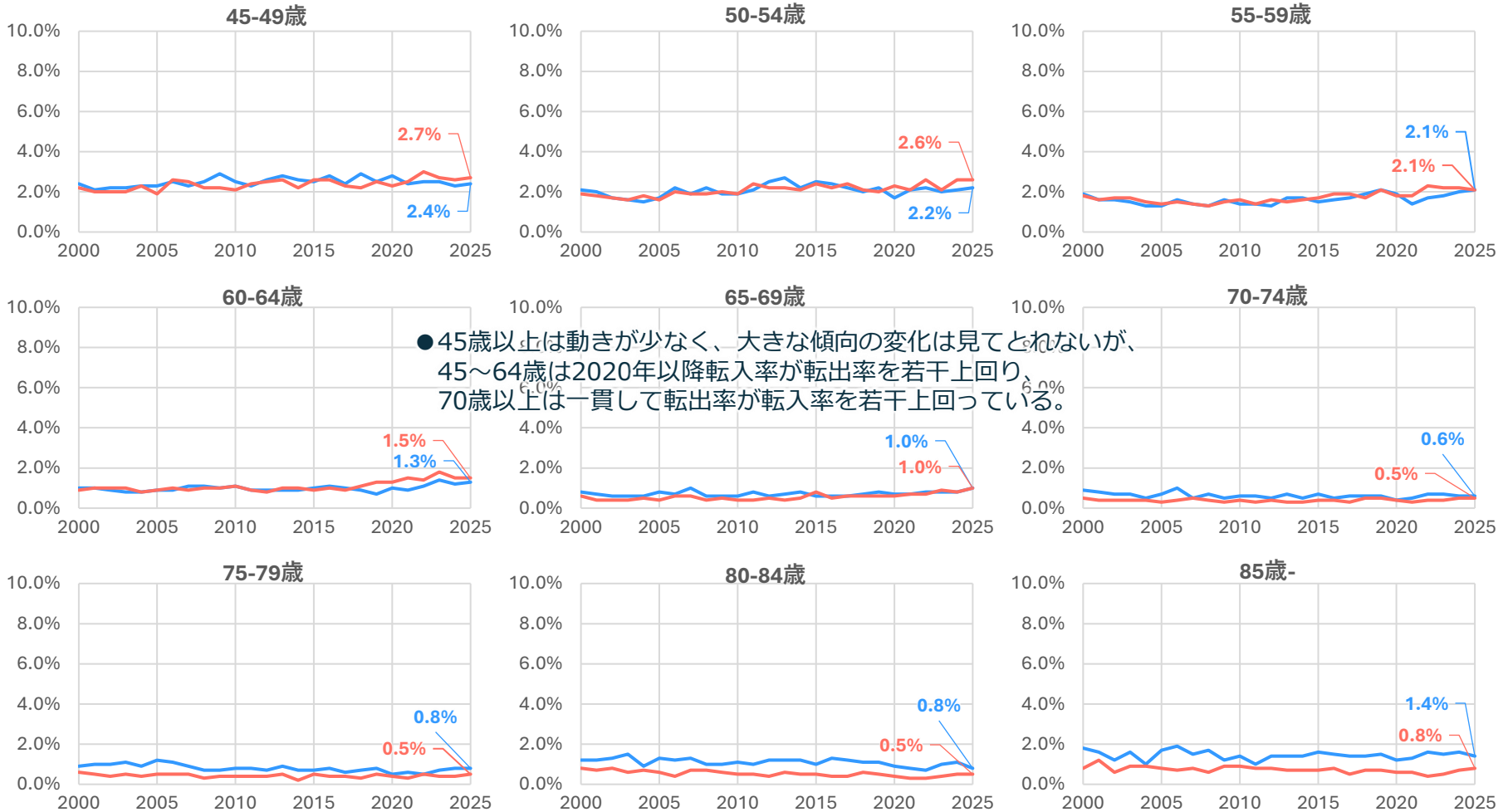
※転入率 = (当該年齢区分の1～12月の転入者数) / (前年12月末における当該年齢区分人口)



転出入率 (年齢5歳区分別)

※転出率 = (当該年齢区分の1～12月の転出者数) / (前年12月末における当該年齢区分人口)

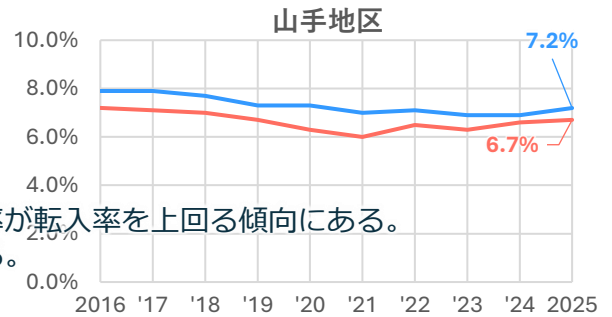
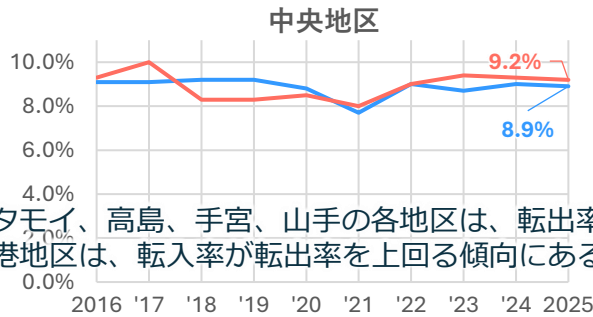
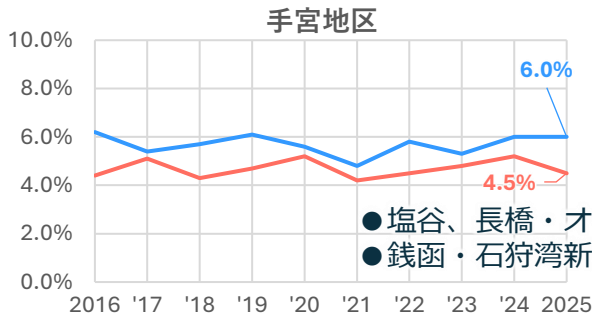
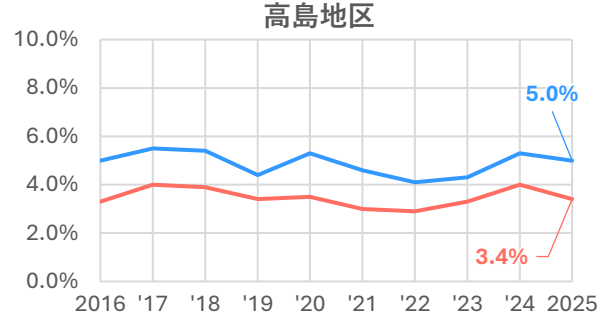
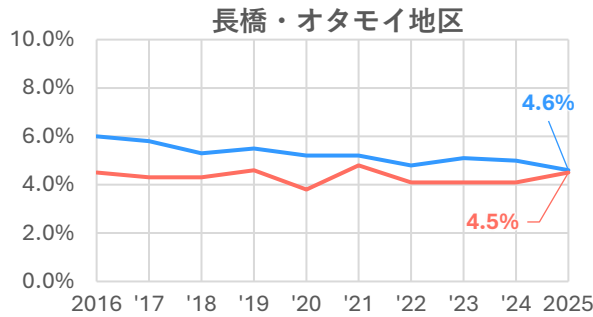
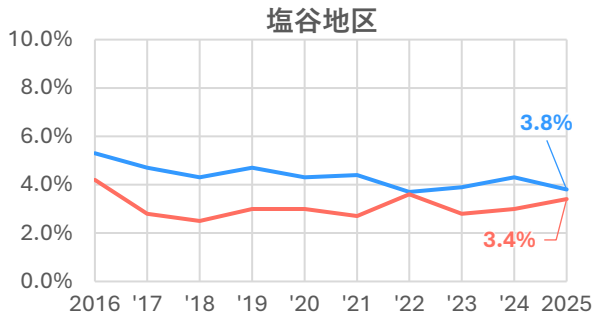
※転入率 = (当該年齢区分の1～12月の転入者数) / (前年12月末における当該年齢区分人口)



転出入率 (市内地区別)

※転出率 = (当該地区の1～12月の市外転出者+市内転居(出)者数) / (前年12月末における当該地区人口)

※転入率 = (当該地区の1～12月の市外転入者+市内転居(入)者数) / (前年12月末における当該地区人口)



●塩谷、長橋・オタモイ、高島、手宮、山手の各地区は、転出率が転入率を上回る傾向にある。
●銭函・石狩湾新港地区は、転入率が転出率を上回る傾向にある。

